



ムンプス難聴の発生頻度調査 — 中間報告 —

近畿外来小児科学研究グループKAPSG
橋本こどもクリニック 橋本裕美

ムンプス難聴調査協力者一覧

(2004.10月現在 32施設)

大谷和正	おおたにクリニック	西垣正憲	にしがき小児クリニック
岡藤輝夫	岡藤小児科	西田直樹	にしだ小児クリニック
岡藤隆夫	岡藤小児科	西村龍夫	にしむら小児科
柏井健作	かしい小児科	根来博之	根来こどもクリニック
片桐真二	かたぎり小児科	橋本裕美	橋本こどもクリニック
賀屋 茂	賀屋小児科	花安 肇	花安小児科医院
川崎康寛	川崎こどもクリニック	播磨良一	はりま小児科
瓦野昌治	かわらの小児科	日野利治	日野小児科内科医院
木戸脇卓郎	きどわき医院	藤岡雅司	ふじおか小児科
絹巻 宏	絹巻小児科クリニック	船木秀則	西京都病院
熊谷直樹	くまがいこどもクリニック	松浦伸郎	松浦医院
幸道直樹	こうどう小児科	松本秀憲	松本小児科
古賀亮一	古賀小児科	山入高志	山入こどもクリニック
桜木健司	さくらぎ小児科		
佐藤洋一	和歌山生協病院 小児科	野間大路	野間こどもクリニック
清水 健	しみず小児科	岡本一徳	おかもと内科小児科診療所
武内 一	耳原総合病院		
谷村 聡	たにむら小児科		

本研究の概要

- 目的: ムンプスと臨床的に診断した患児の聴力予後を前方視的に調査し、ムンプス難聴の発生頻度を明らかにする。
- 対象: 20歳以下のムンプス患者
- 方法: 指擦り方によりムンプス発症後2週間家庭にて聴力検査を行なう。
- 本研究は 日本外来小児科学研究基金の研究助成金を受けて、近畿外来小児科学研究グループにおいて2004年1月より研究調査中である。

ムンプス難聴 診断基準

(厚生省特定疾患急性高度難聴調査研究班:1987)

1. 確実例

- (1) 耳下腺・顎下腺腫脹など明らかなムンプス症例で、腫脹出現4日前より腫脹出現後18日以内に発症した急性高度感音難聴の症例
(この場合必ずしも血清学的検査は必要ではない)
- (2) 臨床的にはムンプスが明らかでない症例で、急性高度感音難聴発症直後から2～3週間にかけて血清ムンプス抗体価が有意に上昇を示した症例

2. 準確実例

急性高度感音難聴発症後3ヶ月以内にムンプスIgM抗体が検出された症例

3. 参考例

臨床的にムンプスによる難聴と考えられる症例

指擦り方による聴力検査

おたふく風邪難聴 調査票

お名前 _____ 男女 _____ 才 診察券 No. _____

連絡先電話番号 _____

このお子さんは[おたふくかぜワクチン]を受けたことがありますか? はい・いいえ
 今回まわりに[おたふくかぜ]にかかった人がありましたか? はい・知らない
 初めて耳の下が腫れた日は _____ 年 _____ 月 _____ 日



	月/日	朝		夕	
		左	右	左	右
受診した日を○で囲んでください	1日目	/			
	2日目	/			
	3日目	/			
	4日目	/			
	5日目	/			
	6日目	/			
	7日目	/			
	8日目	/			
	9日目	/			
	10日目	/			
	11日目	/			
	12日目	/			
	13日目	/			
	14日目	/			

← 初めて腫れた日

一日2回、耳の近くで指こすりをして
聞こえたら○印をつけて下さい。

初診時に指擦り方により聴力を確認。

以後発症2週間後まで同法にて検査を続ける。

ご協力ありがとうございます。受診の際にはこの紙を忘れずに持ってきてください。
 もしも耳の聞こえが悪くなった時には、耳鼻科に紹介させていただきますので、
 すぐにご連絡をお願いします。

記入がすみましたら、必ず当院まで返却をお願いします。

ご持参、郵送、あるいはFaxでも結構です

ムンプス患者一覽報告書

200 年 月～ 月分 No.

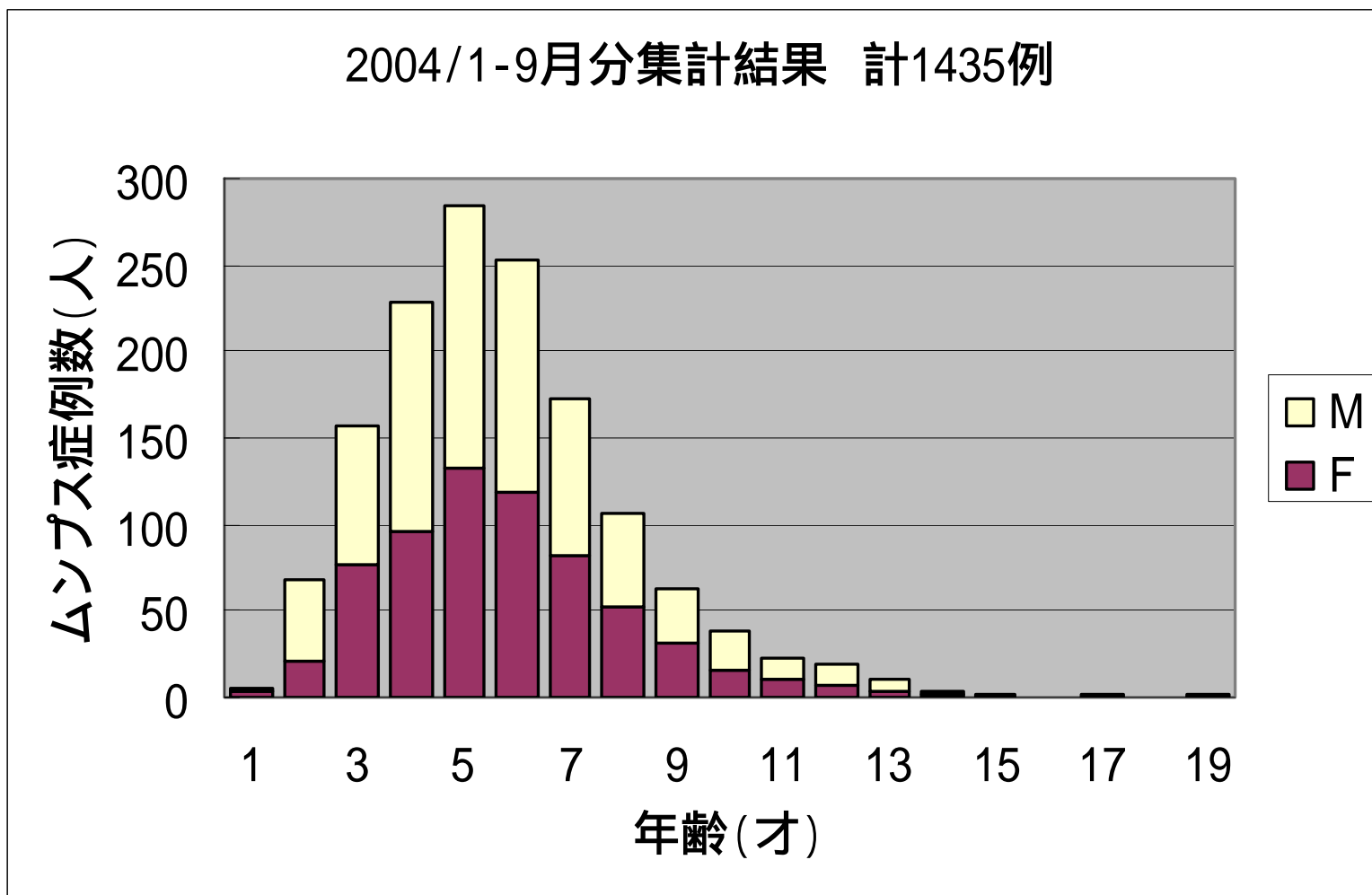
ムンプス難聴調査患者一覽表

施設名:

報告者:

No	初診or診断日			ID番号	お名前(半角カナ orイニシャル)	年齢 才	男:1 女:0	ワクチンの 既往(あり: 1,なし:0)	調査へ参 加あり:1 なし:0	調査票回収 済:1,電話確 認:2,未:0	聴力障害(あり:1,なし:0)		備考(髄膜炎、脳炎など) 「参加なし」の場合その理由(低年齢:A,その他の検査 不能:B,不回答:C)
	年	月	日								初診時	経過中	

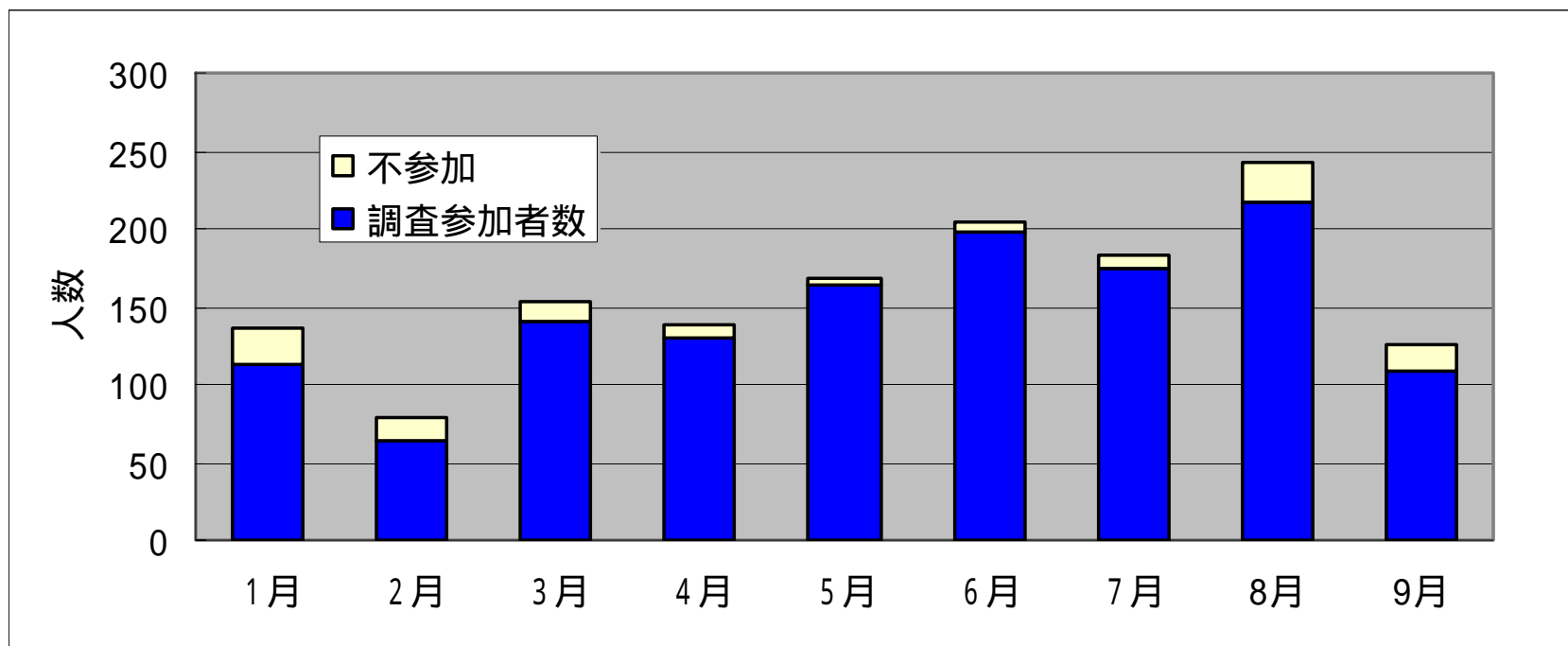
ムンプス症例の年齢分布



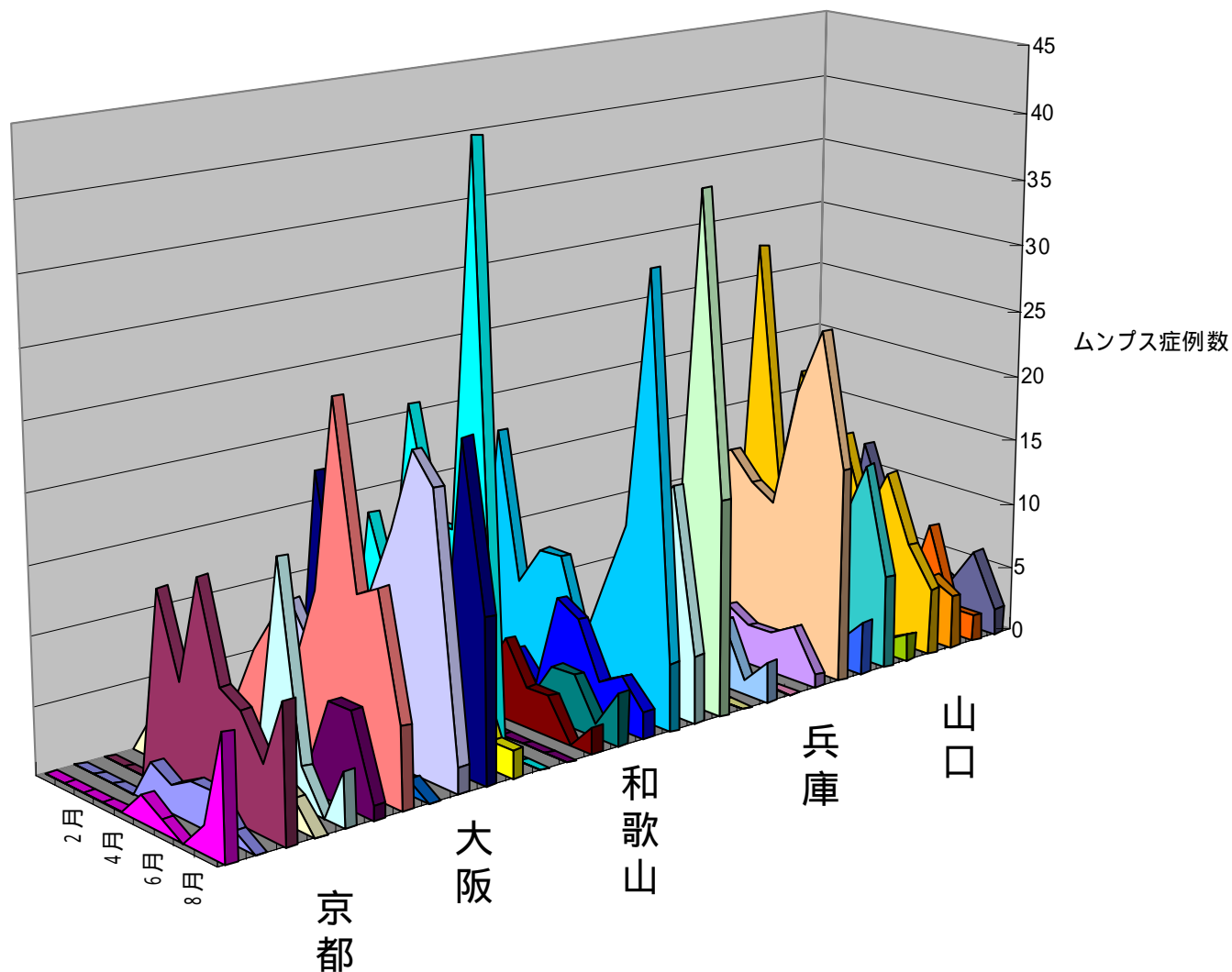
調査開始後のムンプス症例数

ムンプス症例の報告は9月末までで1435例

難聴調査研究の参加者のうち 1307例(91.1%)



報告者別 報告数の経過



難聴発症例 ----- 現在まで1例

7歳1ヶ月男児：和歌山

- ムンプスワクチンの既往なし
- 2004/8/24 発熱38.2 両耳下腺部痛
- 8/25 初診 聴力障害なし
- 8/27(第3病日) 聴力障害発生
 - 指擦りの検査で片側が聞こえないと訴えた。
- 8/28 再診 ムンプス難聴と診断
 - 左側高度難聴 右側正常

周辺症例

- 調査対象ではないが、今回の調査期間中に、協力医療機関で2例のムンプス難聴患者の発症が確認されている。

周辺症例 その1

■ 2004年3月：京都

- すでにムンプス治癒後であった 調査参加患児の姉が片側難聴を起こしていることが、当リサーチの協力医からムンプス難聴について説明を受けたことから判明、診断された。
- **6歳女児** 左65dBの感音性難聴 ムンプス発症の約18日後に電話の音が聞き取りにくそうで気付かれた。

周辺症例 その2

- 2004年5月：兵庫
 - 症例は30歳女性
 - 約2週間ほど前に娘がムンプス罹患。母のほうは受診2日前より右耳鳴り 聞き取りにくいと自覚症状
 - 来院当日 左耳下腺わずかに腫脹疼痛あり(発熱なし)
 - 検査：ムンプスIg G23.9 Ig M16で 初感染
 - 耳鼻科紹介 ムンプス難聴と診断。
パルス療法受けるも右難聴軽快せず

さらにムンプス難聴疑い患者の発生 (母親からの電話にて判明)

■ 寝屋川市 6歳男児

- 今春の検診時には聴力に異常なし
- 8月後半より 電話を持ち替えたり、テレビの音量を上げるなどから 家族が聴力に不審を感じる
- 病院受診し、右感音性難聴(聾)と診断
- 原因に心当たり無く、6月にムンプスに罹患した事が原因ではないかと言われたとのこと

先天性感音難聴

原因不明 (遺伝性?)

風疹

内耳奇形

サイトメガロウイルス

先天性伝音難聴

外耳道閉鎖

耳小骨奇形

先天性真珠腫

後天性感音難聴

ムンプス

急性感音難聴

(突発性難聴)

髄膜炎後

外傷

後天性伝音難聴

急性中耳炎(鼓膜穿孔)

滲出性中耳炎

真珠腫性中耳炎

癒着性中耳炎

鼓膜外傷

一側性高度難聴の原因

大阪府母子保健総合医療センター 1991.7~2001.12

原因	男児	女児	計
ムンプス罹患後	9	10	19
サイトメガロウイルス感染	0	1	1
髄膜炎後	3	0	3
外傷後	0	1	1
不明	76	68	144
計	88	80	168

ムンプス難聴

- 1) 一側性
- 2) 高度感音難聴
- 3) 改善しない
- 4) 幼児期の場合
保護者が気がつかない

ワクチン接種により
唯一予防可能な難聴

ムンプスワクチンの定期接種

(福田,2002)

国分類 *	定期接種国数 / 対象国数	割合 (%)
先進国	23 / 25	92
経済過渡期国	19 / 22	86
発展途上国	40 / 168	24

* WHOの分類(1996)による

ムンプスワクチン接種 (福田,1999)

肯定派

他の感音難聴と異なり、予防しうる
合併症の中でも、難聴が一番予後が悪い
ワクチン接種による髄膜炎の頻度は
自然感染より明らかに低い
医療経済

慎重派

ムンプス難聴の頻度は低い
一側性罹患が多く日常生活に差し支えない
副反応

小児科教科書記載のムンプス難聴の頻度

1:15000 新小児医学大系(中山書店)1981

記載無し

小児感染症学(金原出版)1984

稀

今日の小児治療指針(医学書院)1989

0.4%

外来小児科学(東京医学社)1993

1:18000 小児疾患診療のための

病態生理(東京医学社)1997

1:15000 予防接種Q&A(東京医学社)2000

0.2~1.1%

小児の治療指針(診断と治療社)2002

ムンプス罹患時の難聴発生頻度

1 : 1 8 4 (石丸, 1988)

1 : 2 2 5 (木村, 1991)

1 : 2 5 0 (児玉, 1995)

1 : 5 3 3 (村井, 1995)

1 : 2 9 4 (青柳, 1996)

ムンプス難聴調査協力医療機関の分布



このリサーチにご協力下さい！

- 自己満足のための調査でない
- ムンプス難聴にかかった方が口をそろえて、そんな合併症があるとは知らなかった。こんな事ならばワクチンをしておけば、とおっしゃいます。
- ムンプス患者を第一線で見ると小児科医が、リサーチに参加することで社会にムンプス難聴を啓発できる。
- ムンプス・水痘ワクチンの定期接種化を検討する委員の先生方にもこの研究に関心を持って頂いているので、得られた結果がムンプスワクチンの定期接種化に結びつく有意義な仕事となる。